

第 1 ・ 2 学年国語科学習指導案

1 指導目標

- 三種類の自動車の仕事と作りについての関係を考えながら、内容の大体を読む。(読イ)
 - 語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読む。(読工)
 - 乗り物の本などに興味を持ち、探して読む。(読ア)
- 教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書く。(書ウ)
- 片仮名で書く語を読んだり書いたりする。(言イ(ア))

2 単元名

くらべてよもう (光村図書 1年上)

3 教材名

じどう車くらべ (光村図書 1年上)

4 単元について

(1) 教材について

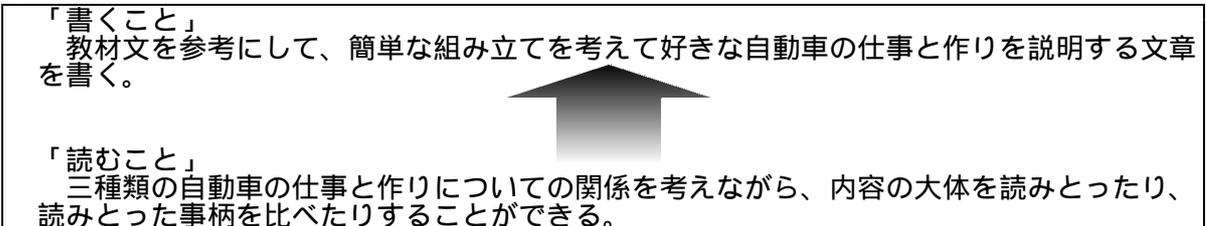
本教材は、入門期の児童にとって興味・関心が強い対象の代表的なものの一つ、自動車を取り上げた説明文である。

児童が説明的文章として初めて出会った教材は、「いろいろなくちばし」であった。鳥のくちばしの特徴と働きを考えることができる教材である。児童は、写真や教材文から説明されている事柄を正確に読み取ることが学ぶとともに説明文の基本文型「問い 答え」を学んだ。

本教材では、この学習の発展として題材に「自動車」を取り上げ、「話題・問題提示 問題に対する説明」を、仕事と作りという二つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。

この時期の児童が興味を持ちやすい題材を取り上げ、主体的な理解・表現活動を促す教材構成である。この教材の学習を通して、児童は、楽しい説明文の読みを体得すると同時に、確かな言語能力を身につけることのできる教材である。

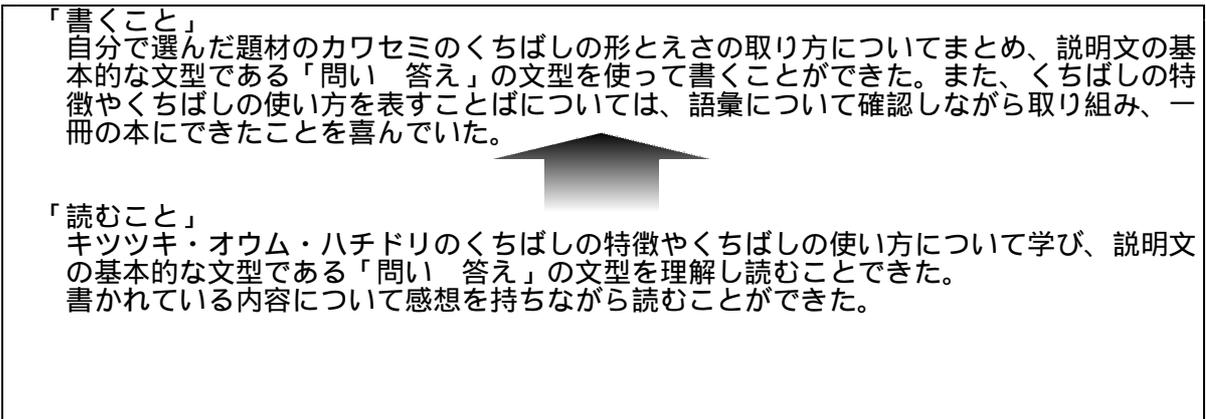
この教材で「読むこと」を生かした「書くこと」とは以下のように考える。



(2) 児童について

児童は読書が好きである。図書館や巡回図書館の利用を楽しみにしている。読書の時間には、静かに読書に取り組んでいる。読み聞かせも大好きで、読書に関する興味・関心が高い。

1年上「いろいろなくちばし」の学習では、「読むこと」「書くこと」の成果と課題は以下のものであった。

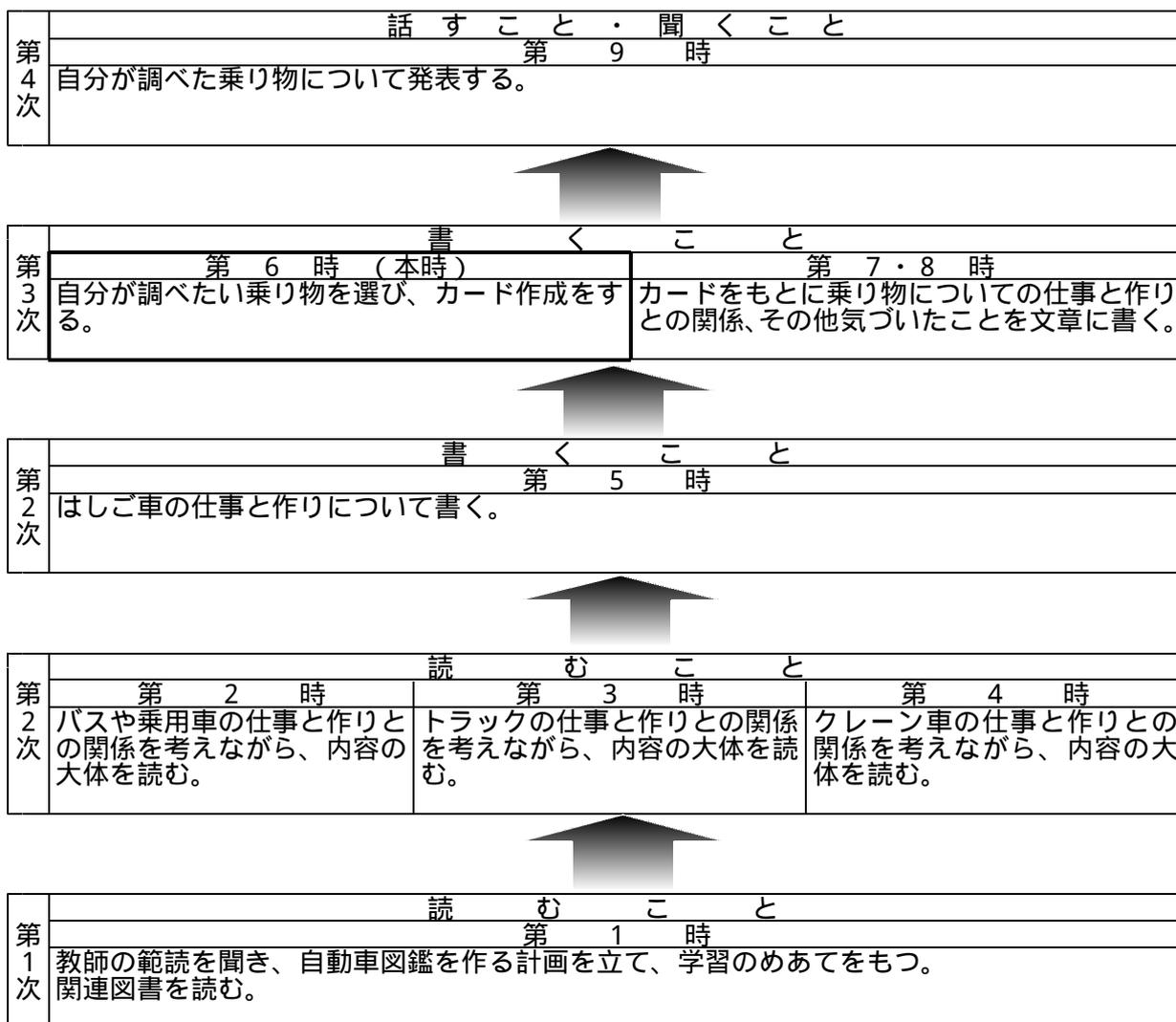


(3) 指導について

本単元では、教材から、バス・乗用車、トラック、クレーン車の、仕事と作りについて述べている部分を適切に選んで書く学習をする。仕事と作りという二つの事柄をつなぐ言葉を用いた説明文の構成を学習する。三種類の自動車の教材文を参考にして、一冊の本を作り、表現タイムで発表することを知らせ、目的意識・必要感を持って取り組むことができるようにしていきたい。

<p>「書くこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三種類の自動車の教材文を参考にし、人に聞いたり、資料を読んだりして集めた情報を書き写したり、書き換えたりして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文章を書くことができるようにする。
<p>「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの自動車の説明が仕事についてと作りについてのまとまりから成っていることに気づかせるために、「そのために」という言葉が果たす役割について気づかせながら読むことができるようにする。 ・教科書の文章をよく読むことと、教科書以外の資料を多く読むことの両方を取り入れ、資料の中から必要な情報を選ぶことができるようにさせる。

(4) 「読むこと」と「書くこと」の相関図 (9時間)



5 評価規準

- 三種類の自動車の仕事と作りについての関係を考えながら、内容の大体を読む。(読イ)
- 語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読む。(読工)
- 乗り物の本などに興味を持ち、探して読む。(読ア)
- 教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書く。(書ウ)
- 片仮名で書く語を読んだり書いたりする。(言イ(ア))

主な学習活動	評価規準 (方法)	具体的評価規準		
		A	B	C(指導の手立て)
	関 自動車についての本や資料を見て、図書資料に親しもうとしている。 (観察)	・進んで図書館等に出かけていき、自動車についての本を探し、自力で読もうとしている。	・自動車についての本を進んで読み、先生や友達に教えようとしている。	・自動車に興味がない児童には、どんな自動車が好きか、友達と十分に話をさせるようにする。
第1次 - 教師の範読を聞き、自動車図鑑を作る計画を立てる。	読 全文を読んで感想を持ち、学習のめあてをもつ。 (発言、ノート) 関 自動車について知っていることを発表しようとする。 (発言、ノート)	・自動車の種類と自動車の何を比べて書いているか、話の大体を読み取っている。 ・知っている自動車について、名前、働きや作りの違いなど、知っていることを複数発表しようとしている。	・自動車の全部の作りが分かり、大体を読み取っている。 ・知っている自動車の名前、働きや作りの違いなどを一つは発表しようとしている。	・挿絵を手がかりに内容の大体を読み取っている。 ・知っている自動車について話をさせ、それをもとにして発表している。
第2次 - バスや乗用車についての教材文を読んで視写し、自動車図鑑のページを作る。	読 バスや乗用車の仕事と作りとの関係を考えながら、内容の大体を読み取っている。 (発言) 言 片仮名を正しく読んでいる。 (観察)	・「そのために」の言葉の役割に気づき、「だから」などほかの言葉で言い換えることができる。 ・教材文のほかにも、人を快適に乗せる役割のためにバスや乗用車の便利ところを複数発言している。 ・片仮名語を、文脈の中において正しい発音、抑揚で読んでいる。	・仕事や作りについて絵と文章を照合させ、「そのために」をはさんでそれぞれの文章のまとまりに気づいている。 ・教材文の中から、バスや乗用車の便利ところを一つは発言している。 ・バスの片仮名語を、正しい読み方で読んでいる。	・文のまとまりに注目するために、「そのために」の言葉の前と後ろの文、それぞれのまとまりを線で囲んでいる。 ・それぞれのまとまりが、仕事と作りのどちらを表しているかを考えている。 ・絵を手がかりに読んでいる。
第2次 - トラックについての教材文を読んで視写し、自動車図鑑のページを作る。	読 トラックの仕事と作りとの関係を考えながら、内容の大体を読み取っている。 (発言) 言 片仮名を正しく読んでいる。 (観察)	・教材文のほかにも、トラックの仕事は何で、荷物を運ぶ仕事に合わせた作りにはどんなことがあるかを、あげている。 ・片仮名語を、文脈の中において正しい発音、抑揚で読んでいる。	・教材文の中から「トラックの仕事」は何で、荷物を運ぶ仕事に合わせた作りにはどんなことがあるかを、指摘している。 ・トラック、タイヤなどの片仮名語を、正しい読み方で読んでいる。	・「そのために」の言葉を教材文の中から探している。 ・乗用車で大きな荷物を運んだらどうかなどについてを考えている。 ・絵を手がかりに読んでいる。

第2次 - クレーン車の仕事と作りについて教材文を読み、車図鑑のページを作る。	読 クレーン車の仕事と作りとの関係を考えながら、内容の大体を読み取っている。 (発言)	・教材文のほかに、クレーン車の仕事は何で、つり上げる仕事にはどんなことがあるか、また、クレーン車の作りについて便利なことや不便なことをあげている。	・教材文の中からクレーン車の仕事は何で、仕事に合わせた作りにはどんなことがあるか、またクレーン車の便利なところや脚がついているわけを指摘している。	・具体的に、鉄骨を高くつり上げてビルを作っている様子を思い起こしている。 ・腕が伸びるだけ車体が不安定になることに気づいている。
	言 片仮名を正しく読んでいる。 (観察)	・片仮名語を、文脈の中において正しい発音、抑揚で読んでいます。	・クレーンの片仮名語を、正しい読み方で読んでいます。	・絵を手がかりに読んでいます。
第2次 - はしご車の仕事と作りについて書く。	書 教材文に倣い、簡単な組み立てで、文章を書いている。 (カード)	・仕事、作りのほかにも、はしご車について自由な文章をまとまりに分けて書いている。	・仕事、作りなどの文章を段落に分け、はしご車について書いている。	・それぞれのまとまりの書きだしの言葉などを手がかりに、段落に分けて書いている。
第3次 - 自分の好きな自動車についてカード作成をする。(本時)	書 教材文に倣い、簡単なカード作成をする。 (カード)	・仕事、作りのほかにも、選んだ自動車について、自由にカードに書いている。	・仕事、作りなどの文章を段落に分け、選んだ自動車について書いている。	・選んだ自動車について関心を持ったことを書いている。
第3次 - 自分の好きな自動車について説明する文を書き、これまで書いたページも合わせて自動車図鑑を作る。	書 教材文に倣い、簡単な組み立てで、文章を書いている。 (カード)	・仕事、作りのほかにも自由な文章をまとまりに分け、選んだ自動車について、書いている。	・仕事、作りなどの文章を段落に分け、選んだ自動車について、書いている。	・それぞれのまとまりの書きだしの言葉などを手がかりに書いている。
第4次 - 自分が調べた乗り物について発表する。	話 自分が調べた乗り物について発表する。 (発表)	・調べたことが紹介する理由となるように話している。	・調べたことを理由をつけて紹介している。	・調べたことを紹介している。

6 本時について

(1) 目標

自分の好きな自動車についてカード作成をする。

(2) 本時の構想

前時まででは、三種類の自動車の教材文が仕事・「そのために」・作りについて構成されていることを学習してきた。

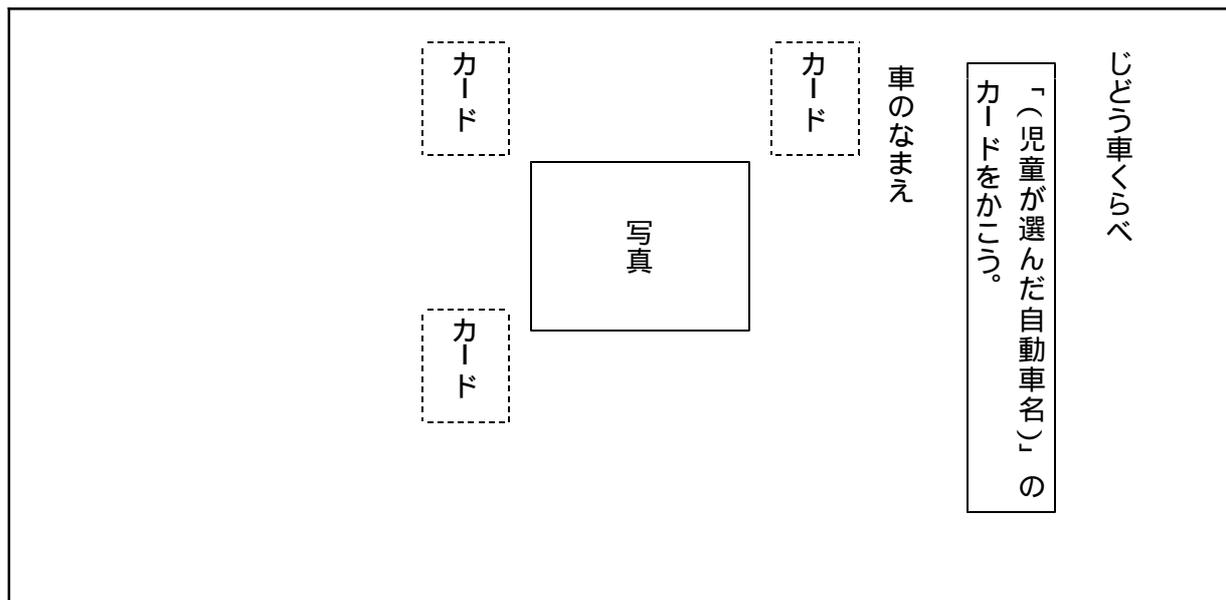
本時は、人に聞いたり、資料を読んだりした情報をもとにして、自分が選んだ自動車について仕事とそのための作りについてカード作成する時間となる。仕事と作りを説明するカードを書くことができるように支援していきたい。

1 年 生			
段階	学習活動と学習内容	指導上の留意点	直問
つかむ 5分	1 前時までの学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">「(児童が選んだ自動車名)」のカードをかこう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が選んだ自動車について確認する。 自分の好きな自動車について説明するカードを書き、これまで書いたページも合わせて自動車図鑑を作っていくことを確認する。 選んだ自動車について、仕事と作りのカードを書くことを確認する。 	
ふかめる	3 教師と学習課題を追究する活動をする。 ・「(児童が選んだ自動車名)」を説明するカードを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 自分が気がついた自動車の仕事と作りについて、カードに書くようにさせる。 参考図書を見たり、経験を想起したりしながら書くように支援する。 児童が選んだ自動車の絵に書いていくようにさせる。 	
32分	3 自力で学習活動を追究する活動をする。 4 書いたカードを確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> 調べて感じたことを書き足し、自分なりの図鑑のページを書くようにさせる。 自分が選んだ自動車について、仕事と作りなどについて書いているか自分で確認させる。 	
まとめる 5分	5 学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> 発表する時には、書いたことを正確に分かりやすく発表することを確認する。 聞く時には、発表者が取り組んだ内容を考えながら聞くことを確認する。 2年生の発表を聞く。 	
ふりかえる 3分	6 学習を振り返る。 7 次時の学習を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 本時学習の振り返りを発表する。 よかったこと、がんばったことなど発表する。 表現タイムまでに学習で取り組むことを確認する。 	

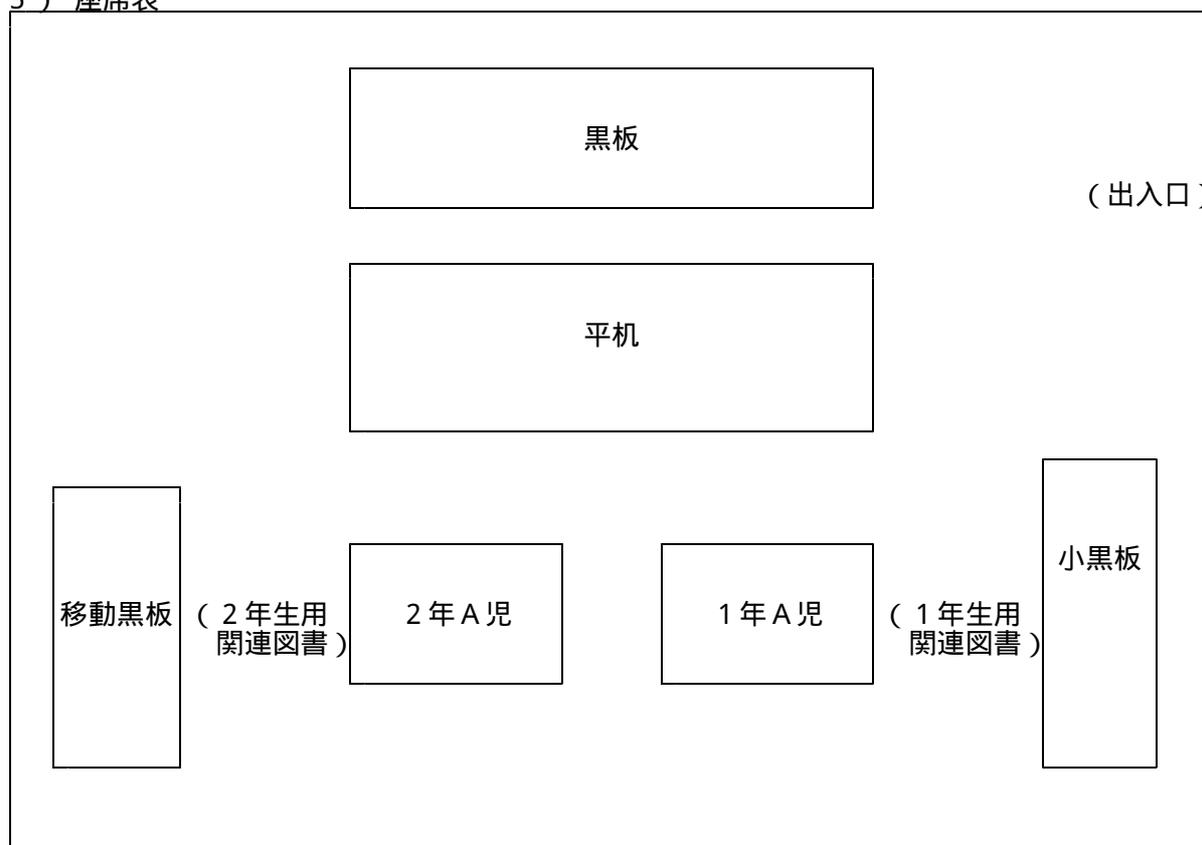
(3) 具体的評価規準

A	仕事、作りのほかに、選んだ自動車について、自由にカードに書いている。
B	仕事、作りなどの文章を段落に分け、選んだ自動車について書いている。
C	選んだ自動車について関心を持ったことを書いている。

(4) 板書計画



(5) 座席表



日時 平成18年 9月 8日(金) 5校時
児童数 1年 男子 1名
2年 男子 1名
指導者 阿部 智子
場所 1・2年教室

1 指導目標

- 海の生きものたちが互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。(読イ)
- 語や文のまとまりや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読む。(読工)
- 興味を持った海の生き物について調べ、図鑑づくりをすることができる。(書イ)
- 片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使う。(言イ(ア))

2 単元名

だいじなところに気をつけて読もう (光村 2年上)

3 教材名

サンゴの海の生きものたち (光村 2年上)

4 単元について

(1) 教材について

本教材は、サンゴの海に住む魚たちの共生について述べられている説明的文章である。サンゴの海に住む生きものは、物語の登場人物として登場したり、図鑑で紹介されたり、親しみを持つことができる。また、グラビア写真が美しく、海の生き物たちに興味を持ちやすい。2年生の児童にとって大変適している教材である。

2年上「たんぼぼのちえ」は、「時間的な順序・その時の様子・その理由」という構成であった。本教材は、説明がやや複雑になっている。説明に登場する生き物の数が多く、生き物の関係もやや入り組んでいる。しかし、「はじめ・中・終わり」の「はじめ」を丁寧に読むことで関係性が理解しやすくなる。「はじめ」の「たがいに、やくに立つようにかかわりあって」という記述が、読み取りのポイントとなる。説明文を読み取る第一歩となる教材である。また、説明的文章を読むことによって知的好奇心が動き、これまで知らなかったことに驚き、さらに、新たな情報を求め、新たな発見や・共感の喜びを、体験することのできる教材である。

この教材で「読むこと」を生かした「書くこと」とは以下のように考える。

「書くこと」
興味を持った海の生き物について調べ、図鑑づくりをすることができる。

「読むこと」
海の生きものたちが互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。

(2) 児童について

児童は、本を読むことが好きで朝読書の読書や図書室の本の貸し出しを楽しみにしている。興味を持ったことについて本を探ること・読み比べること・図鑑の資料を比較することなどが好きである。

2年上「たんぼぼのちえ」の学習では、「読むこと」「書くこと」の成果と課題は以下のようであった。

「書くこと」
児童が自分で見つけたたんぼぼの様子やちえについて、教材文を参考に「たんぼぼ新聞」にまとめることができた。
児童が自分で見つけたたんぼぼが、教材文のたんぼぼの生育状況と若干違いがあり、教材文のたんぼぼの様子と文や挿絵や図鑑を使って確かめる場面で、支援が必要な時があった。

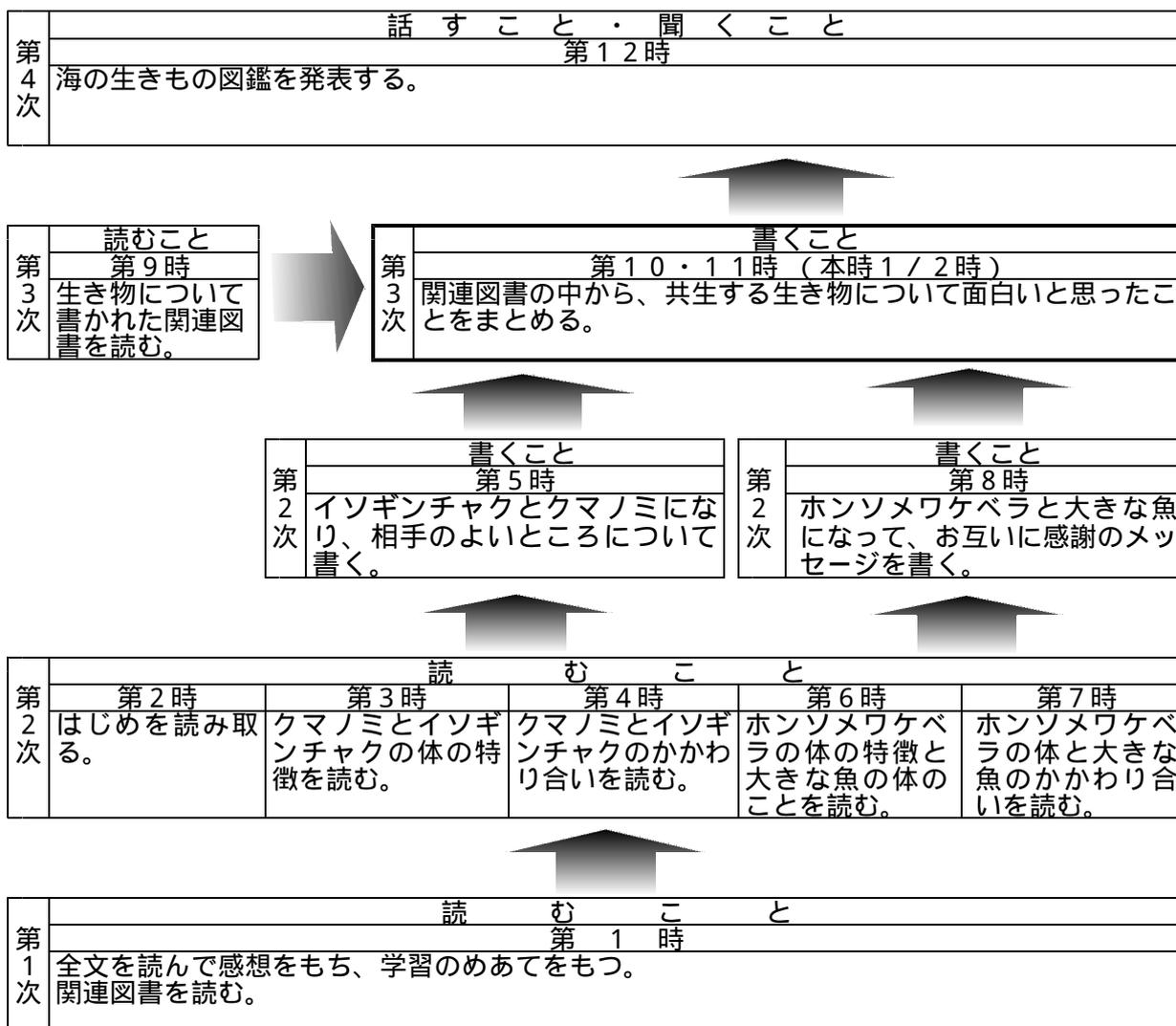
「読むこと」
「時間的な順序・その時の様子・その理由」という構成に着目して読むことの学習ができた。
教師と一緒に挿絵や文中の語句について確かめり、動作化したりすることによって、新しい発見や理由付けについて内容を考えながら読むことができた。
はじめ、新出語句にとまどう様子がみられたが、挿絵や文中の語句を文脈の流れで繰り返し繰り返し確かめたり、動作化したりすることで理解することができた。

(3) 指導にあたって

本単元では、海の生きものたちが互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読み取る学習をする。共生の仕組みの不思議について興味を持たせ、更に、自分が興味を持った海の生き物について調べ、「生きものカード」に書く学習をする。表現タイムで「生きものカード」を発表することを知らせ、目的意識・必要感を持って取り組むことができるようにしていきたい。

<p>「書くこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本教材の生きものの特徴や関わりについて、写真や教材文で確かめることを通して、「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を想起させ、感想に書くことができるようにする。 ・生きものカードを書く視点が教材文と同じであることを生かして、児童が興味を持った海の生き物について、「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を中心に特徴をまとめて書くことができるようにさせる。
<p>「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像紹介・図書紹介・動作化を取り入れ、書かれている語句について教材文の叙述に沿って読み取り、言葉になじませ、理解できるようにさせる。 ・本教材は、「はじめ・中・終わり」の「はじめ」を丁寧に読むことで関係性が理解しやすくなる。「たがいに、やくに立つようにかかわりあって」という記述から共生関係について読みとることができるようにする。 ・「中」では、「どんな生きものたちが、・・・しているのでしょうか」の問いかけに対する答えを探すことに着目し、叙述に即して正確に読み取ることができるようにする。

(4) 「読むこと」と「書くこと」の相関図 (12時間)



5 評価規準

- 海の生きものたちが互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。(読イ)
- 語や文のまとまりや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読む。(読工)
- 興味を持った海の生き物について調べ、図鑑づくりをすることができる。(書イ)
- 片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使う。(言イ(ア))

主な学習活動	評価規準 (方法)	具体的評価規準		
		A	B	C(指導の手立て)
	関 海の生きものたちが互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読み取り、生き物について書かれた本を進んで読む。(観察)	・進んで図書館等に出かけていき、生き物について書かれた本を探し、自力で読もうとしている。	・生き物について書かれた本を進んで読み、教師や友達に教えようとしている。	・生き物について書かれた本に興味をもてない児童には、どんな生き物が好きか、友達と十分に話をさせるようにする。
第1次 - 教師の範読を聞き、いきもの図鑑を作る計画を立てる。	読 全文を読んで感想をもち、学習のめあてをもつ。(発言、ノート)	・内容の大体が登場する生き物、その様子やかかわり合いなど、すべての視点から読み取っている。	・内容の大体をいくつかの視点から読み取っている。	・生き物の様子やかかわりなどの視点を手がかりに、内容の大体を読み取っている。
第2次 - はじめを読み取る。	書 気づいたことを教科書の写真を見たり、範読を開いたり声を出して読んだりして書く。(発言、ノート)	・気づいたことを写真や範読を手がかりにして、複数書いている。	・気づいたことを写真や範読を手がかりにして、1つは書いている。	・写真を見て、話したことを書いている。
第2次 - イソギンチャクとクマノミについて、特徴やかかわり合いを読み取る。	読 2つの生き物の特徴とかかわり合いを読み取る。(発言、ノート)	・自分の力で2つの生き物の様子やかかわり合いについて、まとめている。	・手がかりをもとに2つの生き物の特徴について、書いている。	・動作化をして海の生き物の特徴を書いている。
第2次 - イソギンチャクとクマノミになり、相手のよいところを書く。	書 2つの生き物になり、相手のよいところを書く。(発言、ノート)	・5つの文以上で相手のよいところを書いている。	・3つの文以上で相手のよいところを書いている。	・かかわり合いについて振り返り、1～2つの文で相手のよいところを書いている。
第2次 - ホンソメワケベラや大きな魚について、特徴やかかわり合いにつを読み取る。	読 2つの生き物の特徴とかかわり合いを読み取る。(発言、観察)	・自分の力で、2つの生き物のかかわりあいについて、まとめている。	・手がかりをもとに、2つの生き物について、書いている。	・動作化をして海の生き物の特徴を書いている。

第2次 - ホンソメワケベラや大きな魚になって、お互いに感謝のメッセージを書く。	書 2つの生き物になって、お互いに感謝のメッセージを書く。 (ノート)	・相手のよいところについて感謝の気持ちが表われたメッセージを書いている。	・相手に感謝のメッセージを書いている。	・かかわり合いについて振り返り、感謝のメッセージを書いている。
第3次 - 生き物についてかかれた関連図書を読む。	読 関連図書を読む。 (観察)	・自分で関連図書を持ってきたり、借りたりして、複数読んでいる。	・関連図書を1冊以上読んでいる。	・教科書に出てくる生き物を紹介し読んでいる。
第3次 - 関連図書の中から、共生する生き物について面白いと思ったことをまとめる。 (本時1/2時)	書 読んだ本の中から、面白いと思ったことをまとめる。 (カード)	・「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を中心に、いくつかの特徴と関わり合いを取り上げて文章や絵を書いている。	・「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を中心に1つの特徴を取り上げて文章を書いている。	・興味を持った海の生き物について、心に残ったことを書いている。
第4次 - 海の生きもの図鑑を発表する。	話 海の生きもの図鑑を発表する。 (発表)	・調べたことが紹介する理由となるように紹介している。	・調べたことを理由をつけて紹介している。	・調べたことを紹介している。

6 本時について

(1) 目標

生き物について読んだり調べたりして面白いと思ったことをカードにまとめる。

(2) 本時の構想

前時までで、教材文を読み、海の生きものの特徴やかかわり合いについて写真や教材文で確かめながら、「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を感想に書く活動をしてきた。

本時は、海の生きもののブックトークから、児童が興味を持った共生する海の生き物について「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を中心に特徴やかかわり合いについて書いていく。前時までの学習を生かせるように支援していきたい。

2 年 生			
直間	学習活動と学習内容	指導上の留意点	段階
	1 前時までの学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 「(児童が選んだ海の生きもの名前)」のとくちょうとかかわり合いを書こう。	<ul style="list-style-type: none"> 児童が興味を持った共生する海の生きものについて確認する。 「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を特徴やかかわり合いが分かるように紹介の文章を書くことを確認する。 	つかむ 5分
	3 自力で学習活動を追究する活動をする。 ・「(児童が選んだ海の生きもの名前)」の特徴とかかわり合いをカードに書く。 生きもの名前 特徴 かかわり合い	<ul style="list-style-type: none"> 必要な本のページに、事前に付箋を貼らせておく。 「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を中心に特徴やかかわり合いをカードに書くことを確認する。 読む人に伝えたいことのが分かりやすいように考えながら、文や絵にまとめるよう励ます。 	ふかめる
	3 教師と学習課題を追究する活動をする。	<ul style="list-style-type: none"> 書いたところを確認する。 特徴やかかわり合を取り上げて書いているか確認する。 必要に応じて、動作化して文や絵にまとめさせる。 	
	4 書いた文章を確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> 「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を特徴やかかわり合を取り上げて紹介の文章を書くことができたか自分で確認させる。 	32分
	5 学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> 発表する時には、書いたことを正確に分かりやすく発表することを確認する。 聞く時には、発表者が取り組んだ内容を考えながら聞くことを確認する。 1年生の発表を聞く。 	まとめる 5分
	6 学習を振り返る。 7 次時の学習を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 本時学習の振り返りを発表する。 よかったこと、がんばったことなど発表する。 表現タイムまでに学習で取り組むことを確認する。 	ふりかえる 3分

(3) 具体的評価規準

A	「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を中心に、いくつかの特徴とかかわり合を取り上げて文章や絵を書いている。
B	「初めて知ったこと」「不思議だと思ったこと」を中心に、1つの特徴を取り上げて文章を書いている。
C	興味を持った海の生き物について、心に残ったことを書いている。

(4) 板書計画

写真	「(児童が選んだ海の生きものの名前)」 のとくしょうとかかわり合いを書こう。	サングの海の生きものたち
かかわり合い	とくしょう	生きものの名前

